You'll Never Walk Alone

大島社協ボランティアセンター からのお知らせ

かわら版　No.025
（平成 26 年 11 月 28 日）

みなさん、こんにちは。大島社協ボランティアセンターです。
この「かわら版」を発行しはじめてから１年になります。これからも皆様への情報提供を目的に紙面を作ります。載せて欲しい情報やお知らせ等がありましたらぜひ教えて下さい。

体調管理をしっかりと行ないましょう

毎年 12 月頃からインフルエンザの流行が始まり、1月下旬から2月にピークを迎えます。咳やクシャミで容易に感染が広がります。手洗いだけでなく、バランスのとれた食事、睡眠等を心がけて下さい。心配な方は予防接種をおすすめします。ただし、予防接種は効果が出るまでに約２週間かかりますので、早めに予防接種を受けましょう。これから寒くなりますので十分に気をつけて下さい。

"第7回元町住民祭り"開催（11月16日）

今回は東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県女川町の秋刀魚 1,500 匹が振る舞われ、1,000 人を超える来場者で賑わいました。女川町からも２名の方が来島し、おいしく秋刀魚を焼くコツを教えてくれました。

実行委員会委員長の徳住大亮さん
「元町住民祭りはいろいろな人と人との繋がりを大切にし、その繋がりに支えられて続けてきたイベントです。今回の秋刀魚の振る舞いは、今年の１月、女川町を盛り上げようと頑張る湯浅氏が大島に講演に来られた時の出会いがキッカケで実現しました。多くの住民さんが女川の秋刀魚が美味しいと喜んでくれた事が何よりも嬉しかった。これからも女川町と大島町同じ痛みを知る者同士手を取り合い、人・食で繋がりを深めて行きたいです。」とお話しされていました。

『伊豆大島復興交流プログラム』（11月1～2日）

昨年、島外から災害ボランティア活動に参加した方々に、改めて今の大島を感じてもらおうと、災害から1年が経ったことを機に交流プログラムを実施しました。

初日は「第36回福祉まつり」に参加。模擬店など各ブースに分かれ、住民の皆さんと一緒になって大きな声を出し、売り子や焼き方を手伝い会場を大いに盛り上げてくれました。

2日目は今の大島の現状を知って貰うべく、町歩きスタディーツアーを行いました。まず、町役場復興係担当職員から台風26号土砂災害の被害状況、復興に向けた取り組みについて話を聞きました。その後、元町を散策しながら住民さんから災害当日の話、この1年での変化、今のご様子などお話を伺いました。最後はホテル椿園新館屋上に集まり女将さんに語り部をして頂きました。

「土砂だしなどきれいになっていった風景だけでなく、皆さんの手伝い、応援で自分達の気持ちがどのように変わっていったのか1番伝えたかった。」

災害直後は何も考えられなかった事、ボランティアに来た人達と一緒に片付けをするうちに次に何をするべきか考えるようになれた事、沢山の人の応援が自分達を支えてくれた事、今は大島の災害の教訓を少しでも多くの人に伝えるため語り部活動をしている事、ひとつひとつ丁寧にお話し下さいました。

2日間のプログラムを振り返り参加者からは「また大島に帰ってくるきっかけになった。」「貴重な話が聞けた。前を見て頑張っている大島の皆さんにこちらが元気をもらった。」「とても内容の濃い2日間だった。また必ず大島に来ます。」と感想を伝えてくれました。

"伊豆大島コミュニティぼらん"情報

◎ビーチクリーン弘法浜大作戦

昨年12月から毎月第4日曜日、弘法浜の海岸清掃を行ってきました。
2014年も残りわずか。今年最後のビーチクリーンを行います！
みんなで弘法浜をきれいにしましょう！

日時：12月28日（日）　午後2時～
（雨天中止）
場所：元町弘法浜（現地集合）
持ち物：軍手

●お問い合わせ
伊豆大島コミュニティぼらん代表　長浜　080－3427－0860

社会福祉法人　大島社会福祉協議会　　100-0101 東京都大島町元町２－１－４　TEL　04992-2-3773
公式サイト＝http://oshima.vc/　公式Facebook ＝https://www.facebook.com/oshima.saigaivc